

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おもやい

作成日: 令和 2 年 9 月 25日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	ホームからの報告が中心の会議となっているため、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、公民館館長、元家族、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬について、口腔ケアについて等、ミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜間夜勤者1人で利用者9名を、安全に避難場所に誘導出来る体制を整え、関連施設と非常災害時の相互協力体制の構築にも取り組んでいく。	夜間想定避難訓練を利用者を巻き込まずに、職員が利用者役としてベッドに寝て、夜勤者が利用者役を9名誘導し、何度も繰り返し訓練を行い、夜勤者が自信を持って利用者を全員助け出せる体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。